

# くらしいきいき教室

デイサービスセンター木もれび 伊藤聖史

# くらしいきいき教室について

専門的なサービスを短期集中して提供  
生活機能を向上して「卒業」を目指す

通所と訪問を組み合わせる

# くらしいきいき教室について

訪問と通所を組み合わせることで



実際の環境、動作、状況の変化、人間関係が見える



卒業後の生活をイメージしやすい



より具体的なプログラム立案が可能

# くらしいきいき教室について

## 支援の流れ

事前訪問→体験利用、初期評価→課題抽出

地域生活応援会議→フィードバック→利用開始

# 事例紹介

利用者 Aさん 要支援2

くも膜下出血後遺症(軽度右麻痺、構音障害)

歩行状態 屋内は伝い歩き

入浴動作 またぎや浴槽内の動作に要介助

特養に入所していたが、現在は息子と同居

# 事例紹介

利用者 Aさん 要支援2

## 目標

独りで入浴ができる

独りで外出ができる

(買い物や美容院、交流が出来る場所)

# 支援内容

住環境の調整（フロ、玄関周り）

自宅で取り組む運動の指導

外出機会の確保

（包括、シルバー人材、PT、喫茶店、通いの場が連携）

# 実施方法

訪問

屋内、屋外環境の確認

外出、生活状況の把握

家族や人間関係の把握

通所

ADL動作

入浴動作や起居動作など

小集団での体操、筋力強化

自宅での取り組みを指導

# 支援のポイント

実際の住環境をディで再現



専門職と入浴スタッフで情報交換



# 支援のポイント

外出機会をどう確保するか？



専門職とシルバー人材で情報交換



実用的で卒業を見据えた歩行練習



# 成果について

今回のケースは6ヶ月で「卒業」

近所の喫茶店や通いの場へ週に1-2回外出

# まとめ

課題が解決されれば、介護保険から卒業



身体機能、生活機能の向上  
人的ネットワーク、周辺環境を調整

終わり

ご静聴ありがとうございました。